

井上病院 伝言板

第252号 平成30年10月

井上病院 理念

- 医療を通じ地域の方へ安心を提供すること
- 絶え間ない質の改善を行うこと
- 自分や自分の家族がうけたい医療を行うこと
- 働きがいのある明るい職場を作ること



～10月10日は記念日の日!?!～

日本には様々な記念日がありますが、日本記念日協会によると、1年で最も記念日が多い日が10月10日で、48件もの記念日が登録されています。

どんな記念日があるかというと、

球根の日	10月10日の1と0を縦につなげると球根から芽が出ているように見えることから。
ドラムの日	「1（スティック）0（太鼓）1（スティック）0（太鼓）」として、両手のスティックでドラムを叩いている姿に見えることから。
赤ちゃんの日	およそ10ヶ月間が妊娠期間であり、昔から「妊娠は十月十日（とつきとうか）」と言われてきたことから。

などがあります。

記念日の登録には、日本記念日協会に申請する必要がありますが、記念日登録されていないものもあり、例えば、

目の愛護デー	10・10を横にすると眉と目に見えるから。
缶詰の日	明治10年10月10日に日本で本格的な缶詰製造が始まったから。

などがあります。

ちなみに2番目に記念日が多い日は、11月11日で45件の記念日が登録されています。

日本記念日協会のHP (<http://www.kinenbi.gr.jp/>) で365日分の記念日の検索ができますので、気になる日の記念日を検索してみると面白いかもしれません。

世界手洗いの日



- 日本の子供たちに正しい手洗いの大切さを楽しく伝える
- 衛生と子供の命についてもっと知ってもらおう

過ごしやすい季節になったとともに、季節の変わり目で特に体調を崩しやすい時期でもあります。

感染予防の基本のひとつとして手洗いがありますが、「世界手洗いの日」があるのをご存知でしたか？

世界では5歳の誕生日を迎えずに命を終える子供たちが年間590万人おり、原因の多くは予防可能な病気です。

私たちの生活に当たり前にある水やトイレ等が不足しているために、不衛生な環境や生活習慣を強いられ、下痢や肺炎にかかって命を失う子供たちが年間約150万人もいます。

自分の体を病気から守る、最もシンプルな方法のひとつが、せっけんを使った手洗いです。

せっけんを使って正しく手を洗うことができれば…年間100万人もの子供の命が守られ、また、下痢によって学校を休まなければいけない子供たちが大幅に減ります。

正しい手洗いを広めるため、国際衛生年であった2008年に毎年10月15日に定められたのが「世界手洗いの日」です。

まずはご自分やご家族を守るために、今いちど手洗いの大切さを確認しましょう。

<参考サイト>日本ユニセフ協会世界手洗いの日プロジェクト

洗うのはここ!!

